

2013年11月5日

投資家の皆さま

三菱UFJ投信株式会社

## OGXの破産法適用申請について

拝啓 時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。先日報道がありましたOGXの破産法適用申請を受けて、PIMCO Bermuda Emerging Market High Yield Corporate Bond Fundを運用するPIMCO(パシフィック・インベストメント・マネジメント・カンパニー・エルエルシー)より事実関係及び今後の方針について連絡がありましたので、下記の通りご案内申し上げます。

敬具

### 記

- OGXによる破産法申請  
2013年10月30日、ブラジルで石油ガス開発を手掛ける大手OGX ペトロリオ・エ・ガス・パルチシパソンエス(OGX)が、リオデジャネイロの裁判所に破産法適用の申請をしました。負債総額は約112億レアル(約5千億円相当)と見られ、ブラジル現地の報道では中南米で過去最大の経営破綻とも伝えられています。OGXは今後、裁判所に対し60日以内に会社再建計画を提出し、その後、債権者全員が180日以内に再建計画を承認しなければ破産に向けた手続きに移行することになります。
- 破産法適用の申請に至った背景  
OGXは、ブラジル最大の海底油田域であるカンポス沖(Campos Basin)に権益を有し、石油ガス上流事業を主に行っております。このカンポス沖の油田域は水深が比較的浅く油田開発が技術的にもそれほど難しくないこともあり、OGXが手掛けた最初の鉱区における第一および第二油田では開発に成功し想定通りの産油量を達成していました。ところが、2013年3月から同じ鉱区内で生産を開始した第三油田では、産油量が想定を遥かに下回り経済性が低いことが判明しました。また、OGXではカンポス沖で手掛けた鉱区から創出されるキャッシュフローを活用し、探鉱や他プロジェクトを推進する計画だった為、OGXのビジネスモデル自体が市場で不安視されることとなりました。かかる状況を受けて、OGXは債権者と数カ月にわたり事業再建計画を巡る協議を行っていたものの不調に終わり、2013年10月30日に債権者からの資産保護を求めて破産法の適用を申請することとなりました。
- PIMCO Bermuda Emerging Market High Yield Corporate Bond Fundにおける組入れ状況  
三菱UFJ高利回り社債ファンド通貨選択型シリーズ(愛称:グローイング・スター)及び新興国ハイイールド債券ファンド(愛称:グローイング・スピリッツ)が組入れを行うPIMCO Bermuda Emerging Market High Yield Corporate Bond Fundでは、2013年10月末現在、下表のように3銘柄のOGX債を組み入れております。

銘柄名	償還日	クーポン(%)	組入れ比率(%)
OGX AUSTRIA GMBH SR UNSEC 144A	2022/4/1	8.375	0.02
OGX PETROLEO E GAS PARTI SR NT	2018/6/1	8.500	0.06
OGX PETROLEO E GAS PARTI SR NT	2018/6/1	8.500	0.07
OGX組入れ比率合計:			0.15%

なお、当該銘柄に対する各ファンドにおける保有率は以下の表の通りでございます。

ファンド名	当該銘柄 債券保有率
新興国高利回り社債 通貨選択<円>(毎月)	0.15%
新興国高利回り社債 通貨選択<米ドル>(毎月)	0.15%
新興国高利回り社債 通貨選択<豪ドル>(毎月)	0.15%
新興国高利回り社債 通貨選択<ブラジル>(毎月)	0.15%
新興国高利回り社債 通貨選択<資源国バスケット>(毎月)	0.15%
新興国高利回り社債 通貨選択<アジアバスケット>(毎月)	0.15%
新興国高利回り社債 通貨選択<メキシコペソ>(毎月)	0.15%
新興国高利回り社債 通貨選択<トルコリラ>(毎月)	0.15%
新興国ハイイールド債券ファンド(為替ヘッジあり)	0.15%
新興国ハイイールド債券ファンド(為替ヘッジなし)	0.15%

・ 今後の方針

OGX がリオデジャネイロの裁判所に破産法適用を申請して以後、私共 PIMCO のポートフォリオ・マネージャー、クレジット・アナリストは、より詳細な情報の収集に加え OGX のクレジット分析を再度行っています。状況を注視しながら適時適切な対応を図っていく方針です。

以上